

のらえもん

『人も 自然も みんなともだち !』 No.10

第10回活動「冬の野鳥観察とサケの卵の配布」

*今年はどうな水鳥がきているだろう？

*サケの受精卵を育ててみよう！

1, 参加者：	家族	15	内訳	大人	16
				小学生	19
				幼児	5
				合計	40

スタッフ2,

のらえもんの活動を見に来た人 2



2, 活動の様子

のらえもんの活動を見に来た2人を紹介し、今頃見られる野鳥の紹介をしてから、新芝川に向かいました。

観察できた野鳥

- ①ヒヨドリ ②ハクセキレイ ③ハシブトガラス ④ヒドリガモ
⑤カモメ ⑥カラスの死骸 ⑦羽

わずかこれだけでした。「コガモ？」と思ったらヒドリガモで、コガモは来ていませんでした。

新芝川から荒川の土手に上り、畑を観察しながらもどってきました。そこで気が付いたことは、野の花がたくさん咲いていることでした。子どもたちもなんとなく「へんだな～」と思ったようです。

咲いていた野の花

- ①シロツメクサ ②アカツメクサ ③ホトケノザ ④タンポポ
⑤そばの花 ⑥ハキダメギク ⑦アカザ

そして、シジミチョウを子どもが見つめました。

いよいよサケの卵を配布する時間です。茨城県久慈川漁業協同組合から送られてきたピンク色のサケの卵を見せると、「ウォー」と歓声があがりました。どの子も目をまん丸くあけてみてくれました。「このとき！」と、「サケの一生」の紙芝居を始めました。絵がきれいでわかりやすい紙芝居です。これは、会員の本田倫恵さんのお母さんがかいてくれたものです。のらえもんの活動以外にも、2年生の「さけが大きくなるまで」のまとめの出前授業に何回も使っています。のらえもんの財産になっています。

サケの受精卵は一人10個持って行ってもらい、家族で育て観察してもらうことにしました。

・・・親と子の生き生き感想・・・

○鮭の卵を、スプーンですくった時、目が動いていました。こんどこそは、ぜんぶしなせないようにしたいです。

サケ卵 たいせつにして 逃がしたい 栗原北小 四年

○紅葉が、とてもきれいでした。南花畑よりも、空気がすきとおっていて気分てんかんに
なりました。とても楽しかったです。 竹塚小 五年

○鳥など飛んでいるところを見れました。サケの紙芝居が面白かったです。シジミチョウ
をつかまえられてよかったです。

サケ生まれ 帰ってくるのは 4匹だけ 鹿浜西小 五年

○たのしかった。

土手にはね かわいいとりが いるんだよ 鹿浜西小 二年

○ぼくもサケの勉強を学校でしました。でも、サケの卵が白くなると死んでいるというこ
とを知りませんでした。 西新井第二小 二年

○育てるのはむずかしそうだけど、がんばります。 西新井第二小 四年

○とりを見たのが、たのしかったです。

とりみるよ とてもいっぱい とんでたよ 鹿浜第一小 二年

*土手で走ったとき、疲れました。卵は今年もがんばって育てたいです。

荒川に 帰ってきてね のらえもんサケ 母

○サケのたまごが、いくらみたいだった。 上沼田小 一年

○鳥をいっぱい観察できてうれしかったです。おにグルミを3こ見つけました。さけのた
まごを、こんかいはいっぱいあらかわにながしたいです。

いっぱい見 鳥がいっぱい 楽しいな 上沼田小 四年

○まだ、花がいっぱいさいていてびっくりした。

あきなのに いっぱい花が さいている 上沼田小 一年

○くつしたなどにくつつくくさがイヤでした。おなかがオレンジできれいなとりがいまし
た。

日本の和 まっかなもみじ きれいだな 上沼田小 四年

○紅葉が綺麗でした。冬でもいろいろな花が咲いているんだなと思いました。

寒くても いろんな命 生きている 保育園児梅北玲奈の母

○たくさんの とりをみたよね おもしろい 北鹿浜小 一年

○サケのたまごが、かわいかったです。

かもちゃんが 川でゆらゆら およいでた 北鹿浜小 一年 栗原 ナギサ

*いつもの公園ですが、いつもと違う歩き方で楽しかったです。新しい発見がありました。
母

○サケの赤ちゃんをもらうのは3回目で、いつももらうのは10～15匹なのに今日は2
0匹だったのでびっくりした。サケの赤ちゃんは、前は少ししかしななかつたので、赤ち
ゃんを死なないようにしたいです。 新田小 三年